

佐野の歴史を訪ねる
～城下町・宿場町、そして鋳物の町～



朝日森天満宮：治安3年(1023)に足利家綱が左遷先だった九州の天満宮の分霊を唐沢山城に勧請したのが始まりと伝えられています。慶長7年(1602)に唐沢山城が廃城となり、新たに佐野城を春日丘(城山公園)に築城する際、城の鎮守社とするため現在地に遷座しました。祭神は菅原道真。

記

実施日 平成 29 年 10 月 13 日(金)

集 合 東武佐野線 佐野駅改札口 9 時 50 分

この電車に乗って下さい

野田市 7:55 発→春日部 8:24 着
(東武アーバンパークライン)

春日部 8:29 発→館林 9:13 着
(東武スカイツリーライン区間準急・館林行)

館林 9:23 発→佐野 9:39 着
(東武佐野線・葛生行)

参加費 会員 500円 } (施設入館料、保険料、資料代等含)
一般 1,000円

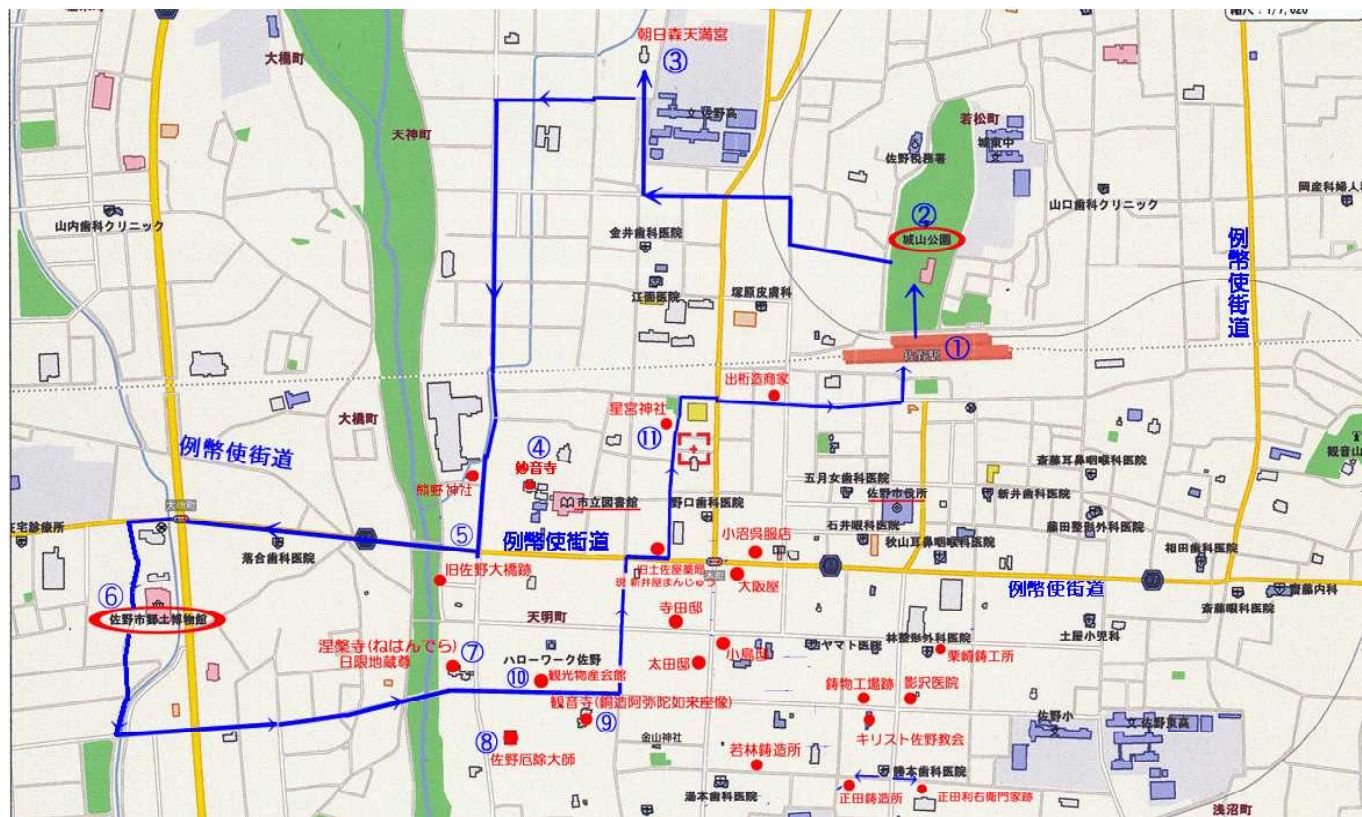
昼 食 お弁当、飲み物をご持参下さい。 場所「佐野市郷土博物館」
解 散 佐野駅 16:00頃予定

申 込 染谷啓之 (Tel/Fax04-7129-7400 EMail: hiro.someya@nifty.com)
土屋 惇 (080-6536-0730)
宮本勝仲 (04-7126-7826)

申込締切 9 月 30 日(土)

コース

- 午前 ①佐野駅→②城山公園→③朝日森天満宮→④妙音寺→⑤旧佐野大橋跡→
⑥佐野市郷土博物館
～⑥佐野市郷土博物館にて昼食～
午後 ⑥佐野市郷土博物館見学→⑦涅槃寺→⑧佐野厄除大師→⑨観音寺→
⑩観光物産会館→⑪星宮神社→①佐野駅
全行程 約 4.75km(午前 2.65km、午後 2.1km)



「佐野」の地名が記録上初めて登場するのは、「兵範記」に書かれた平安時代の荘園名である「佐野庄」という記事からです。佐野庄は藤原秀郷の子孫と称する藤姓足利氏(後の佐野氏)とその一族によって治められるようになりました。

源頼朝が挙兵すると、鎌倉幕府の御家人として存続し小領主ながら戦国時代を乗り切り豊臣政権下で3万9000石の所領が安堵されました。戦国時代末期、佐野氏は、現在の佐野市とその周辺を支配し、その拠点になったのが唐沢山城です。

江戸時代のはじめ唐沢山城主佐野信吉は、佐野城(現城山公園)の地に移城するよう幕府から命じられ、城下町整備を図りましたが、豊臣系の大名であった為か、移城後間もなく慶長19年(1614)に改易、所領も没収され、佐野氏の支配は終わりを告げました。

その後は天領となっていました。貞享元年(1684)堀田正高(大老堀田正俊の次男)が1万石で改めて佐野藩を立藩します。元禄11年(1698)に近江堅田に配置転換の為廃藩となりますが、文政9年(1826)に堀田正敦が1万6千石で佐野に戻り、再び佐野藩を立藩し明治維新を迎えます。

佐野市中心部は正保4年(1647)に開削された日光例幣使街道の宿場町としても知られ、人々の往来が多くなると主産業だった綿ちぢみや鋳物が急速に全国で知れ渡るようになりました。特に鋳物は「天明鋳物」と呼ばれ「西の芦屋・東の天明」と称されるなど当時の全国的なブランドとなります。そして平成17年2月、佐野市、田沼町、葛生町の1市2町が新設合併し、現在の佐野市が誕生しました。

今回は佐野城のあった城山公園、学問の神様・佐野の氏神朝日森天満宮、初詣に57万人も参られる佐野厄除大師、日本最古の算額を有する星宮神社を中心に訪ねます。そして田中正造ゆかりの佐野市郷土博物館で佐野の歴史を学びます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

担当 染谷啓之、土屋博、宮本勝仲、高橋國夫